



浪の平地区 まちづくり計画

安全安心

みんな住みたくなる

居留地の
歴史が香る
浪の平

ながめよく

みんなたのしく

のびのびと

ひらけゆく

らくえん

1. 浪の平の現状

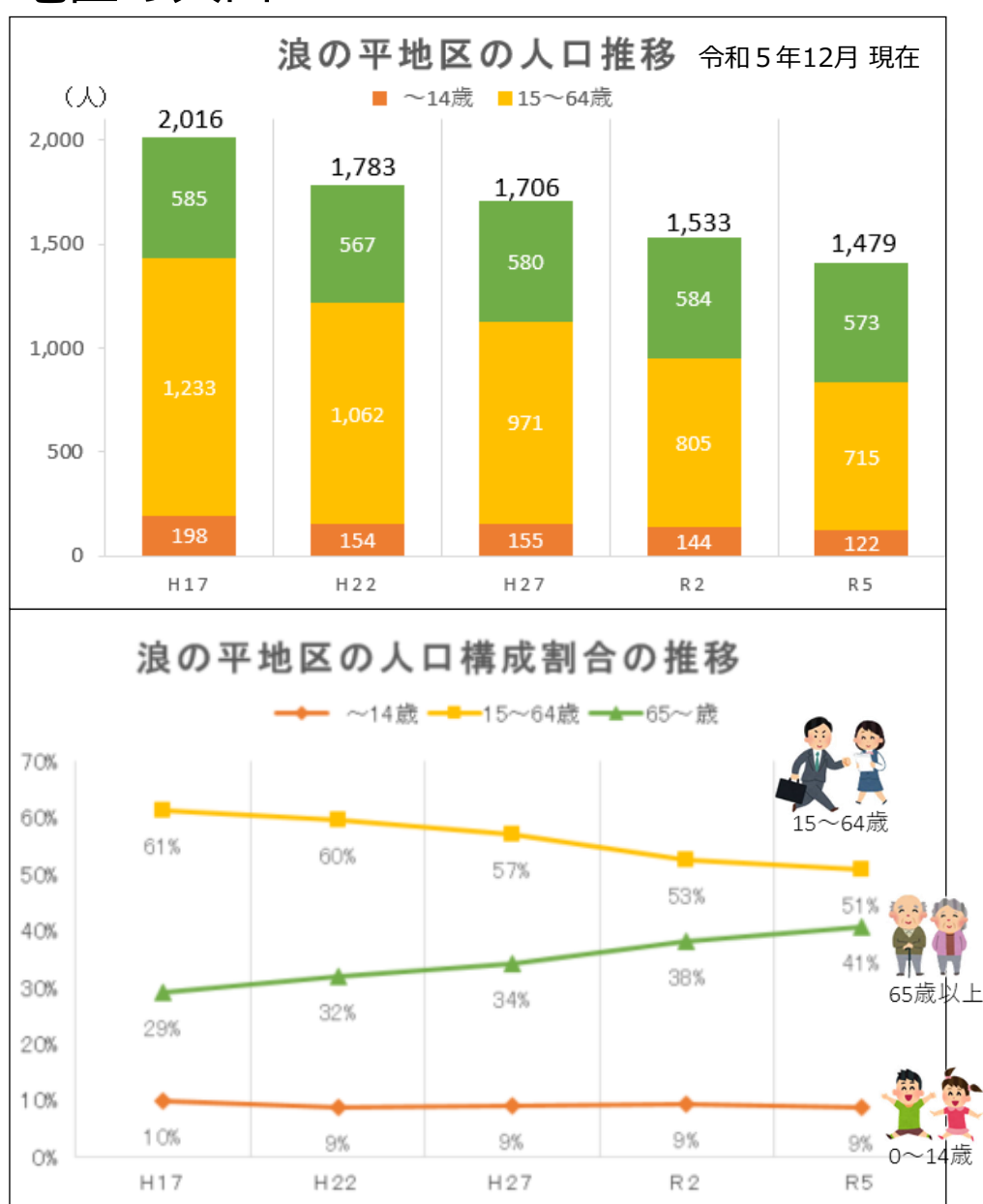


歴史と斜面のまち浪の平地区は、いま地域住民の減少と少子化・高齢化が同時に進んでいます。

また、子どもたちの学びの拠点であった浪平小学校も平成19年(2007年)に小学校統廃合により閉校となり、大浦小学校に統合されました。私たちは10年後20年後、人口が減っていく中でも、高齢者が安心して住み続けられ、子育て世帯や若者が住んでみたいと思えるまちづくりを考え、実践していかなければならないと考えています。

長崎市全体においても少子化・高齢化が進んでいく傾向にあります。浪の平地区が今後も暮らしやすいまちであり続けるには、地域の力、つまり地域のつながりが改めて大切であると考えています。そのために、いまの浪の平地区の現状や課題を地域の皆さんでしっかりと共有し、地域のつながりがあるうちに、そのつながりを強めるしくみを作り、今あるつながりを維持し、さらに強めていきたいと考えています。

▶ 浪の平地区の人口



● 令和5年現在の人口と世帯数

人口： 1,479人

世帯数： 852世帯

2. 浪の平まちづくり協議会とは？



浪の平地区で活動する自治会をはじめとしたさまざまな団体や住民の皆さん同士が話し合い、チームとなって、地域にある様々な課題を解決するのが「浪の平まちづくり協議会」です。

このまちづくり計画には、すぐできることもあれば、時間がかかることや自分たちだけでは難しいこともあります。

それでも、できることから少しずつ、できる範囲で、住民の皆さんの想いをカタチにしたこの計画を実行できるよう、浪の平まちづくり協議会でまちづくりをしていきます。

3. まちづくり計画とは？

第1回
R4. 8. 21

【テーマ】 旧・浪平小学校跡地活用について

平成19年に閉校した浪平小学校の跡地の活用について意見を出し合いました。



第2回
R5. 10. 22

【テーマ】 浪の平に暮らして感じingことをみんなで話そう！

ふだんの生活の中で感じていることについて自由に話し合いました。



第3回
R6. 1. 28

【テーマ】 地域にある団体のことを知ろう！

地域のために日々活動をされている団体の方から活動内容をお教えいただきました。



第4回
R6. 5. 26

【テーマ】 解決策を整理し、将来像を考える

浪の平地区のいいところや心配なところについて自由に意見を出し合いました。



第5回
R6. 10. 19

【テーマ】 まちづくり計画の素案を確認して、地域全体の将来像を考えよう！

前回の意見をまとめた「まちづくり計画」の素案をみんなで確認し、浪の平地区のめざす将来像を考え、投票で目標を決定しました（表紙に掲載しています）。



第6回
R7. 1. 26

【テーマ】 まちづくり計画を披露し、事業を考える

完成したまちづくり計画、体制、規約、（役員）を共有し、どんな事業を行うか具体的に考えました。

4. 浪の平地区の現状とめざす将来像

つながり ・交流 ・観光

●「つながり」分野のめざす将来像

つながる機会にあふれるまち 浪の平

●浪の平地区の 現状・課題・問題点

【ソフト面】

- 子ども会の活動に自治会の協力があつた
- 子ども会がなくなった
- 50～60代の人材が欲しい
- できる人はいるが、自分の生活を優先しがち
- 役員も決まった人しかやってない
- PTA→育成協→地域活動→民生委員
- 若い人たちにまとまってほしい
- 若い人が少ない、子どもが少ない
- 地域に関わる若い人がいない
- 若い時からの経験が大事
- 他地域から「良かねー」といわれる
- 学校がない人が「つながり」のダメージ
- 観光客が増えた。敷地内にはいつてくる

【ハード面】

- 高齢者施設が多い
- カーブミラーが少ない
- 特に道路沿いの樹木が大きくなった
- 景観をさまたげる危険も
- 草が生い茂っている



●将来像を実現するために必要な取り組み

▶引き続き取り組みたいこと（既存の取り組み）

- 高齢者サロン ●社協の給食会
- つくる邸での交流イベント（七草粥イベントなど）
- 歴史探訪会のさるく
- 夏祭り
- 小曾根公園イルミネーション
- 桜まつり
- 春のウォークラリー

▶新たに取り組んでみたいこと（一部抜粋）

【ソフト面】

- 世代を問わず、みんなでつながる仕組み(連絡網とか)
- 地域全体での（浪の平地区）話し合いを定期化する
- まつり等の事業をする
- 気軽に話す場の創造（企業とも話せたらいい）
- 役員を引き受けられるような輪づくり
- 歌劇団
- 「思い出」ができる地域行事
- 浪の平歴史探訪を継続して行う
- 子育て世代に魅力的なまちに
- 浪の平地区でふれあう機会を増やす
- 横のつながりを作るしくみづくり
- 浪の平の魅力・イベントを発信する

【ハード面】

- 道路環境の改善
- 継続的な草木の整備
- 2バスとの連携を進める
→①2バス整備と連動した土地の有効活用
②魅力の発信
- 歴史的建造物の保存と活用
- 世界遺産空中散歩
- 長崎歴史まちづくり協議会との連携
- 企業との連携
- 福祉施設とのつながりをもつ

高齢者

●「高齢者」分野のめざす将来像

楽園の斜面地 浪の平 ～毎日に刺激を～

●浪の平地区の 現状・課題・問題点

【ソフト面】

- 高齢者の集まる場所が少ない
- 高齢者の楽しめる場所が少ない
- 高齢になると移動が大変
- 独居老人が多い
- 自治会のメンバーが少なくなっている
- 地域住民が少なくなっている
- 呼ばれたら行く（自分からは×）
- 地域に福祉施設がたくさんある
- 施設の職員さんと地域でつながる機会（少）
- 顔なじみが多い
- おしゃれなおばさま、おじさま
- お世話好きたくさん

【ハード面】

- 家が老朽化してきている
- 階段が多くて外に出るのが大変
- 家廻りの草木が大変。身体のあちこちが痛くなる
- 住居を移したいが場所がない（高台が多いため）
- 買い物が毎日行けない
- 近所にお店が少ない ●坂が多くて外出が大変
- 買い物等簡単にできる場所がない
- ベンチが欲しい
- 本人の気で家から出ることがおっくう
- 車が入らない ●交通の便が悪い。道がない
- 石畳で高齢者は歩きにくい
- 施設が十分に活用されていない



●将来像を実現するために必要な取り組み

▶引き続き取り組みたいこと（既存の取り組み）

- 安全安心ささえあいマップ
- 移動販売
- 高齢者サロン
- 社協の給食会



▶新たに取り組んでみたいこと(第5回ワークショップで出された意見(一部抜粋))

【ソフト面】

- 安全安心ささえあいマップの見直し（地域住民のみんなが見れるような工夫をする）
- 日、時を決めて集まれる場所を作る（声掛けしてくれる人やサポーターを作る）
- できること、得意なことを教える
- 定期的にカフェ等集まる日を作る←おめかししていきたく場所！（服選びも脳トレ）
- 地域でポスターやチラシを作成して配布する
- 子どもたちとの交流の機会を作る
- 高齢者が話せる企画（昔話や歴史を話す）
- 子どもも遊べる。お年寄りも集まれる場
- 気軽に集える場所 ●毎月、映画の上映会等行う（映画館的な）
- 定期的にフリーマーケット的なイベントを（服など、無償で）

【ハード面】

- 空き家を拠点に活用！
- みんなで空き家をリノベーション！
- 循環バスを走らせるorタクシー無料にする
- 施設の車を使用して循環
- 1日2回でもいいので、地域で1台ミニバス運営
- 地域の施設を（マリア園等）見学してみる

子ども・子育て

●「子ども・子育て」分野のめざす将来像

子供と大人がつながれるまち 浪の平

●浪の平地区の 現状・課題・問題点

【ソフト面】

- 子ども（少）
- 子どもが少なくて、一緒に遊ぶ人がいない
- 子育て世代が少ない
- ふれあいが少ない
- 子どもと出会う場が減っている
- 地域と学校等ふれあう機会が減った
- 行事に参加しない
- 子ども・親は忙しく参加しない
- 子ども関係者のみで行事は難しい
- 楽しめるイベント（行事など）がある
- 忙しい中でも時間さけるか→意識の変化？
- 習い事をしている子が多い

【ハード面】

- 広くて遊べる場所がない
- 子ども同士で集まれる公園が少ない（無い？）
- 遊び場がない
- 通学路が狭い（歩道と車道が明確でない）
- 子ども会の運営が難しい



●将来像を実現するために必要な取り組み

▶引き続き取り組みたいこと（既存の取り組み）

- 夏祭り
- イルミネーション
- もちつき
- ウォークラリー
- クリスマス会



▶新たに組みこんでみたいこと(第5回ワークショップで出された意見(一部抜粋))

【ソフト面】

- 子ども向けイベント（対象地区を絞らず）の中で子育て世代から話を聞く機会をつくる
- 公民館での子ども向けイベントでお助け隊を集める
- 中学生が意見を言える場を！！
- 子ども自身が楽しめるように。eスポーツとか
- 子ども・子育て世代に情報伝わりやすい工夫を!!
- 祭りのプロセスを子どもたちに知ってもらえるようにする→地域のつながりが生まれる
- 子どもの安全・安心マップの作成
- 連絡網を強化する
- 夏祭りの共同開催
- 子ども会と青年会の協働

【ハード面】

- 小学校跡地を公園にする
- 公園にwi-fiを設置する
- バスケットコート
- 空き家をつかって子どもの居場所づくり
- 暗い所に照明を設置する



生活環境

●「生活環境」分野のめざす将来像

赤ちゃんからジジババまで

安全安心で心豊かに住める町 浪の平

●浪の平地区の 現状・課題・問題点

【ソフト面】

- 人と人とのつながり挨拶
- 住みたい若い人はけっこういる
- 年寄りが多い
- 眺めが良い
- 景色がいい
- 静かで住みやすい
- 夜は静かがいい
- 汽笛が聞こえる



【ハード面】

- 空き家活用した取り組みがある
- 空き家が多い
- 坂のまちの生活は魅力的なのに伝わっていない
- こうびあん（カフェ）
- 場所は景観もよく町にも近くてとてもいい環境である
- 高い木が多く、台風のと枝、葉がたくさん落ちている

●将来像を実現するために必要な取り組み

▶引き続き取り組みたいこと（既存の取り組み）

- 小学校の通路清掃
- 空き家の活用（つくる邸のような）
- 草むしり
- 階段の白線引き



▶新たに組みこんでみたいこと(第5回ワークショップで出された意見(一部抜粋))

【ソフト面】

- 散策、散歩コース・空中散歩の道、看板つくる
- 除草作業はまとめて、日付を決めて行う
- 公園・道路お清掃活動
- 坂道階段を年寄りが歩きやすいように

【ハード面】

- 空き家の活用（空き家調査、空き家MAP、持ち主の意向確認、家の終活、さかみち不動産）
- 空き家を活用した民泊
- 空き地を公園にする
- 洋館の活用・民間の空き施設の活用
- 老朽家屋の対策
- 用途地域の見直し、2バース事業との連携
- 安全に楽しく遊べる散歩ルート整備
- 街灯を増やす
- 道路の穴修復（南山手）
- ホテル開業→お店を増やす（空き家）
- 長い坂道に手すりを付ける
- 坂のまちの住環境の良さを発信（SNS）
- EVの整備
- 横道の整備・保存樹木の適正管理
- コンスィ坂の拡幅



防 犯 防 災

●「防犯防災」分野のめざす将来像

地域でみまもり、地域でたすけあい！
心をひらき地域に鍵を！！

●浪の平地区の 現状・課題・問題点

【ソフト面】

- 防災に関わる若手が参加していない
- 防災協議会のメンバーが高齢化
- 消防団員の減少問題
- 防災意識は強いが、継続して話し合いに参加するメンバーが少ない
- 若い力が欲しい
- 他地域からの応援
- 地元の人がない



【ハード面】

- 道路に消火栓の標識がない
- 人通りが少ない場所は危険
- 街灯の位置が悪く、少ない（しげみ、高さ）
- 水利の悪さ
- がけ崩れ、土砂崩れ
- 防災のイベントをしているが、分団が少ない



●将来像を実現するために必要な取り組み

▶引き続き取り組みたいこと（既存の取り組み）

- 県防災ポータルを活用してマップを作成している（防災協議会）
- 防災訓練



▶新たに取り組んでみたいこと(第5回ワークショップで出された意見(一部抜粋))

【ソフト面】

- 防災協の在り方を具体的に見直す
- 各町内の防災リーダーの参加
- 世帯名簿の整理ができればより見やすくなるのではない
- 自治会に所属していない世帯にも防犯防災のアンケートを取る

【ハード面】

- 防災避難マップの活用・空き家
- 空き地の解消
- 防犯上の欠点箇所を全員で情報共有する
- 防災マップの有効活用
- 南山手メインストリートに居住者を増やす！！



5. 浪の平まちづくり協議会 体制図



浪の平地区で活動する自治会をはじめとしたさまざまな団体や住民の皆さん同士が話し合い、チームとなって、地域にある様々な課題を解決するのが「浪の平まちづくり協議会」です。

このまちづくり計画には、すぐできることもあれば、時間がかかることや自分たちだけでは難しいこともあります。それでも、できることから少しずつ、できる範囲で、住民の皆さんの想いをカタチにしたこの計画を実行できるよう、浪の平まちづくり協議会でまちづくりをしていきます。

▶ 浪の平まちづくり協議会 組織体制図

総会

構成： 下記の各団体の代表、役員
開催： 年1回

内容： まちづくり計画の策定、事業計画・予算の決定
事業報告・決算の承認、役員の選任
規約の制定及び改廃 等

連合自治会

青年会

社会福祉協議会
浪の平支部

大浦地域
包括支援センター

浪の平地区民生委
員・児童委員協議会

作業部会
(事業会議)

グラバー園

浪の平地区
防災協議会

構成： 役員会で指名された方
開催： 随時
内容： 事業計画に基づく事業
実施に関することを協議

マリア園・
びいどろ

消防団第14分団

南長崎
クリニック

大浦小学校

(医) 健友会

大浦小学校PTA

役員会

構成： 会長、副会長、事務局、
会計
開催： 随時
内容： ・総会等の審議事項の検討
・事業計画の進捗管理

杠葉病院

大浦小学校区子ども
を守るネットワーク

会長

グループホーム
南山手

副会長

(有) 長崎堂

梅香崎中学校

役員
(理事)

軍艦島
コンシェルジュ

梅香崎中学校PTA

監査

事務局

会計

南公民館

梅香崎中学校区
青少年育成協議会

斜面地・空き家
活用団体つくる

南山手町並み保存会

南山手地区観光
推進協議会



▶これまでご協力いただいた団体のみなさま



小曽根町自治会／浪の平町自治会／古河町自治会／南山手町自治会／東琴平1丁目自治会／東琴平2丁目自治会／西琴平町自治会／社会福祉協議会浪の平支部／消防団第14分団／浪の平地区防災協議会／南公民館／大浦地域包括支援センター／大浦小学校PTA／梅香崎中学校区青少年育成協議会／マリア園・びいどろ／
（医）健友会／南長崎クリニック／軍艦島コンシェルジュ／（有）長崎堂／南山手地区観光推進協議会／南山手町並み保存会／グラバー園／大浦天主堂

発行元：浪の平まちづくり協議会

発行日：令和7年5月

なお、この「まちづくり計画」は、必要に応じて見直しを行っていきます。